

区分・種別	県指定有形文化財（彫刻）		
名 称	もくぞうしゃかによらいざぞう 木造釈迦如来坐像 1躯		
所 在 地	松山市下伊台町		
所 有 者	西法寺	管 理 団 体	
指定年月日	昭和29年11月24日		
解 説	<p>この像は下伊台の薄墨桜で知られた西法寺にある。寺は延暦年間（782～806年）の創建と伝えられ、盛運を誇ったが、その後たび重なる火災にあい、江戸時代の初期に現在地に移ったという。</p> <p>釈迦如来坐像は、像高63.6cm、肩幅48.5cm、坐張り71.2cmの像である。面相は豊かな表情をたたえ、全体の容姿はよく均整がとれ、螺髪<small>らぼつ</small>に古い手法がみられるが、衣文<small>えもん</small>の刀法などから鎌倉時代中期の作とみられる。寺伝によれば、伊予国守護河野通有<small>あり</small>の寄進といわれている。</p>		

